飯高駅 ウォーキングコース 珍布峠 めずらしとうげ

伊勢と大和、和歌山を結んだかつての「和歌山街道」。
この街道沿いには宿場町の面影をとどめる町並みや石碑、道標などを見ることができます。
珍布峠ウォーキングコースは、その史跡を巡る自然豊かな散策コースです。

珍布峠

ウォーキングコース 香肌峡 グリーンアドベンチャー

- ●ロングコース ■■■■■■ 所要時間：2時間　距離：7.5km
- ●ショートコース ●●●●●●● 所要時間：1時間10分　距離：4.5km

飯高駅 ➡ 珍布峠 ➡ 礫石 ➡ 姿見の池 ➡ 常夜灯 ➡ 飯高駅

礫石の碑

死人谷

木戸の一軒家

小津安二郎資料室

常夜灯

水屋神社

姿見の池

北畠具教首塚

道の駅　飯高駅

礫石

水屋神社

大和の春日神社の行在所として祀られた由緒ある神社。ご神木である大楠は、推定樹齢1000年を超え、樹高35m、根回り29m、樹幹12mという県内有数の巨木。
昭和42年 県指定天然記念物指定。

伊勢と大和の国分け伝説

むかし、むかし、珍布峠（めずらし）で出会った伊勢の天照大神（あまてらすおおみかみ）と春日の天児屋根命（あまのこやねのみこと）が、国境を決めるために川に石を投げ入れた。大石を礫のように投げると、滝のように川水が流れ、そこを滝壺、波の変化した様子からそれぞれ加波、波瀬、舟戸、波が止まったところを波留と名付けた。波は高見山まで達した。この日より高見山を伊勢と大和の国境とされた。